



粘菌の会 会報

AIIC

第16号 令和2年

2020年 8月1日発行

聡太君が祖母に連れられて、囲碁教室を訪れたのは5歳の時です。そして17才の「藤井新棋聖、最年少タイトル獲得!」と16日のニュースに私たち日本中が喜びに沸きました。コロナへの不安、そして豪雨による各地の大災害発生の状況の中で、彼の活躍はさわやかで嬉しいものでした。粘菌も私たちと再会の頃となりましたが、小さい虫や雨の多さでしょうか? 彼らなりに常に危機がある様子が観られます。それでも億年を生きているのです。人類もたくましく、この時を乗り越えていきましょう!



釋蔵院と粘菌



2017年9月より、能満地区を中心に春、秋の観察会を実施。1300年の歴史の地で仲間と共に観察ができることは、ありがたいことです。寺院を守り続ける地域の人々の姿に感謝と古の時代の人々に思いを馳せます。

行事予定

8月1日(土) 定例会

12:30

8日(土) **夏休み観察会**

午後1時~3時 粘菌博物館

ねんきんと標本観察

午後3時~4時半 博物館周辺を散策

里山観察会

☞家族を入れ10名位

先着順の申し込みとします。

資料代として500円頂きます。

<他の日の希望の方は、個人対応とします>

☆ 野外の観察に出かけます。

虫よけ対策等しましょう。

☆ 天候やコロナの発生状況により

変更もあり。

境内にて ムラサキホコリ(上) ドロホコリ(左) マメホコリ(右) シロモジホコリ
マンジュウドロホコリ(下)2020年5月~7月

つ ぶ や き . . .

なんの、なんの、好人物の集う処、これからも好き人が立ち寄ることを期待します。

皆様の来館を楽しみに!! 一会員より

☆コロナ拡大により春の観察会はできませんでした。

秋の観察会は是非実現したいと考えます。

尚、事情に応じ能満地区の現地案内もできます。

連絡をお待ちします。

文責 中村(良)